

# 第8回倉吉市立小学校適正配置協議会 概要

倉吉市教育委員会

- ◇日 時 令和3年2月5日(金) 午後7時～午後8時30分
- ◇場 所 上灘公民館
- ◇参加者 委員35名、事務局7名

## 1 開 会

### ○教育長あいさつ

昨年12月18日に、修正複数案について各地区の方向性を示してから、2回目の協議となる。このコロナ禍の状況で、各地域での話し合いが十分されていないかと思うが、どのようなところで折り合いがつけられるかというところを目指して、各グループの意見交換をお願いしたいと思う。

## 2 各グループ協議の意見抜粋

### 成徳地区・明倫地区・灘手地区

#### 【肯定】

- ◇ようやく協議会が開かれて、同じテーブルについて話をするというのは大きな進展だと思う。何度も言うが、統合後の姿が見えないので、その辺りの青写真を示してもらえば、話が進んでいくのではないかと思う。(灘手)
- ◇地区の結論を出すには、一番の当事者である保護者の意見だと思う。学校は子どものもので、子どものことを一番に考えるべきだ。最終的には教育委員会で判断してもらうしかないと思う。(灘手)
- ◇小学校の校舎がどこになるかより、最初に中学校に手をつけるべきではないかと明倫の意見として出した。そのことから3校統合がいいという意見があり、最初の一步としてこの意見を明倫地区の方向性として出した。(明倫)

#### 【中立】

- ◇この会で話し合った内容を、まずPTA役員会に落とし込みをしている。次に参観日後の懇談会で、各クラスの保護者へ落とし込みをして、そこで話し合った結果を、また役員会に出してそれを我々、保護者代表3名が、その吸い上げた意見をこの協議会に出すという流れをしている。(明倫)
- ◇適正配置協議会主催の説明会を開催し、チラシは全体に配布し館報にも掲載してもらった。この説明会で、地域の方から多くの意見があった。関心がある方は説明会にも参加されるが、全ての住民の意見を吸い上げるということは難しいので、あまりこだわらなくてもいいと思う。(成徳)
- ◇このようにグループ協議した意見を積み上げながら、お互いが歩み寄るような形で話がまとまっていく方が、間違いなく反発も小さくて進むと思う。どのようなコンセプトをとっても、すべてが納得という形にはならないと思う。(成徳)
- ◇灘手は保護者17軒の意見が通らないと言われたが、なんとか地域に残ってほしいと思うのであれば、灘手地区としても保護者の意見をバックアップしていくような協力体制にする必要があると思う。(明倫)
- ◇明倫・成徳地区では、どのような形で住民に周知し意見集約され、どのレベルで案が出されたのかを聞きたい。灘手地区で説明会を開催しても参加者が少なかつたため、どうしたものか悩んでいる。関心が低いのか、意見を言ってもどうしようもないという意識が強いのか、それすらわからない。(灘手)

### 高城地区・北谷地区・社地区

#### 【肯定】

- ◇やはり子どものことを考えると、今のままではいけないという話はよく耳にする。運動会や音楽会などの意見も出ていたが、たくさんの経験は子どもには大事なことで、そのような視点で考えると、人数が多いということはいいなと思う。(社)
- ◇子どもが中学校へ行ったら、人数が多いので見違えるくらい生き生きと元気になり、高校へ行くと更に元気になった。これからはコミュニケーション能力が必要だが、たった5人やそこらではコミュニケーション能力はつかないので、せめて20人くらいのクラスでコミュニケーション能力を養い

ながら成長していったほしい。(北谷)

◇やはりクラス替えが出来るくらいの人数がいい。人数が少ない方が行き届いた教育が出来ると言われるが、仲の良かった子どもと別々のクラスになるという経験は、ひとつの発達段階としては大事なことだ。(社)

◇久米中の方に社と一緒に中一貫校を作ったとして、地域住民とどう関わりを持っていくかを具体的に示すことが出来れば、もしかすると賛同もらえるのではないかと思う。北谷も社も高城も、このような関わりが出来て楽しいことが考えられれば、いいのではないかと思う。(高城)

#### 【中立】

◇まずは協議会委員で話し合い、次に館長会に相談して、そのあと地区振興協議会にかけて住民集会になっていくと思う。まとめ方としては、基本的にはまず小学校のPTAの皆さんに今までの経緯を説明し、例えば春までには地区としての合意を取りたいという手順で考えている。PTAや地区の方へ合意形成のためにいろいろなことをやってみようと考えている。(北谷)

◇どのような形の中で説明会を開催していくかだが、高城の3つのブロックで話を聞くとか、保護者の意見も聞く。聞くと収拾はつかなくなるかもしれないが、北谷、社の意見もいただきながらしっかり議論をしていきたい。(高城)

◇統合することを賛成か反対かではなく、小学校を適正に配置するにはどうしたらいいかということが基本だ。今後の推移を見て、どのように学校を考えるか、もっと言えば各学年の学級数をどのようにするのが適正なのかを考えることが大事だと思う。(北谷)

◇小学校の保護者を中心に、その3案の中でどの案の支持が多いかを一つの契機として、合意を図っていくという手順で進めていくのが適切ではないか考える。(社)

### 小鴨地区・上小鴨地区

#### 【肯定】

◇小規模校の良さより、マイナス面の方が多く出る人数になりつつあると思う。子どもたちにはいろいろな意見があって、それを聞いて発達段階でぶつけてくる子もいて、成長段階で折り合いがつけられるようになってくる。そこが大事だと思う。(小鴨)

◇保護者対象の説明会を、教育委員会の方が学校のPTAを通して、地域の方も聞いてないということがないように調整していけば動いていくと思う。(小鴨)

#### 【中立】

◇今、公民館のコミュニティセンター化ということで、地域づくりを新たにやろうとしている。その中で小学校の位置付けということが大きく、中途半端に小学校があるのかないのかと続けるのも苦しいものがある。だからと言って急ごうという問題でもない。(上小鴨)

◇ある程度の道筋を立てていただかないと出席しても何の意味もない。上小鴨地区では、きちんと説明会を開いていただきたい。しかし地域での説明会となると、地域の高齢の方が多く参加されているので、遠慮がないところで保護者や若い人の意見を出し合って、それをまた地域全体の会に出すことをしないと前に進まない。(小鴨)

◇地区に出向いて説明されるというのは、あくまで小規模校をなくしていこうという話をされるように感じるが、中立な事実なり客観的な話をして、お互いに考えを言わないといけないと思う。(小鴨)

#### 【否定】

◇修正複数案が出た直後に、100名くらいの全役員を招集して説明をし、さらには全戸に現状ということで資料配布をした。また、1月新館長を対象に状況の説明を行い、再編問題協議会としての考え方も伝えて進めてきている状況だ。(上小鴨)

◇小さい学校が大きい学校と一緒にすることが、果たして適正な教育環境と言えるのだろうかと思う。そこが議論の平行線になるところだと思うが、よくよくそこは考えていく必要があると思う。切磋琢磨ということがこの再編の大きな理由になっているが、小学校段階ではゆったりと個性を伸ばす方がいいのではないかと思う。(上小鴨)

◇保護者がどうもやられているという時代の流れなのか、国の動きに仕方がないと感じてしまわれているようなところがあり、本当にそこはよく考えてほしいと思う。(上小鴨)

3 その他 次回開催予定日 令和3年3月26日(金)

4 閉会